

たかす議会だより

2019年11月5日 発行

孔雀草

No. 176

令和元年9月定例会号

(町花「マリーゴールド」の和名) 題字 宮島歩美

決算認定がありました！



資格拡大!

利用しやすく
住りますよ!



鷹栖町の公営住宅の利用
促進を図るため、条例を改
正しました。

条例

公営住宅管理条例 などを改正

改正前

同居者がいる
町内に在住または勤務
高校生以下の子がいる
町内に親または子がいる

敷金3カ月分

退去時に
ふすまの張り替え
畳の表替え

改正後

どなたでも入居可

※ただし、所得要件等があります

2カ月分に

義務の廃止

※故意に破損した
場合を除く



定例会の議案一
覧は速報版に掲
載しています。



新人議員2名を含む6
名の一般質問のあと、12
件の議案について原案通
り可決しました。
その後、平成30年度各
会計の決算を認定し、1
件の人事案件に同意しま
した。
議会からは2件の意見
書を各関係機関に提出し
ました。

第3回定例会を9月18
日・19日に開催しました。

定例会のあらまし

たかす議会だより No.176



令和元年9月定例会号

発行：北海道鷹栖町議会

編集：広報広聴常任委員会

- 4 「ふらっと」建設など
平成30年度決算概要
- 6 全42項目 慎重審議
決算審査質疑
- 11 6名の議員が一般質問
日下議員・青野議員・大石議員
川原議員・林川議員・片山議員
- 18 町独自に給食費助成
第4回臨時会
- 19 議会のうごき
広報研修・視察受入
- 20 私たちが議員です!
議員を紹介します
- 22 皆さまの声
議会モニター・お知らせ
- 23 くじゃくそうクイズ!
次回定例会案内ほか

【表決】

議案は起立により賛否の意志を表明します。
反対があった場合は反対者名を記載します。
また討論があった場合はその内容を記載します。

令和元年 第3回定例会

公営住宅の入居

意見書

所得税法56条廃止に賛否

意見書案1件否決、2件提出

今回の定例会では3つの意見書案のうち2つを関係機関に提出しました。それぞれの審議結果は次の通りです。

全文はこちらで



「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」

提出議員 大石 隆
賛成議員 片山 兵衛

可決 全会一致

「所得税法第56条の廃止を求める意見書」

提出議員 姥 順一
賛成議員 川原 允

個人事業者が生計を一にする親族に支払った対価を経費と認めないとする条文の廃止を求めるものです。

「地方財政の充実・強化を求める意見書」

提出議員 舟根 輝好
賛成議員 齊藤 哲子

可決 反対1名

日下

反対 青野議員 青色申告と白色申告、それぞれの制度があります。税制全体ではなく、一方の制度のみで見直しを求めることには賛成できません。

否決 反対8名

青野・日下・桑原・舟根
齊藤・片山・林川・大石

補正

北星川復旧工事

一般会計補正予算ほか

今年度3回目的一般会計補正予算は、8月9日の豪雨で被害を受けた北星川の法面復旧など4カ所の工事を含むものでした。他に鷹栖工業団地の債務負担行為の追加補正もありました。

同意

教育委員の選任

任期満了に伴い

おのうえ あさみ
尾上麻美さん

(任期令和元年10月1日
～令和5年9月30日)



PTAや少年団の活動、地域行事にも積極的に参加されています

条例「条文を適切に」

水道事業給水条例

水道の開閉栓手数料1000円+税について、「1円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる」の部分は不要。条文をよく吟味し、適切な文言にして欲しいと林川議員が反対討論をしました。

可決 反対1名

林川

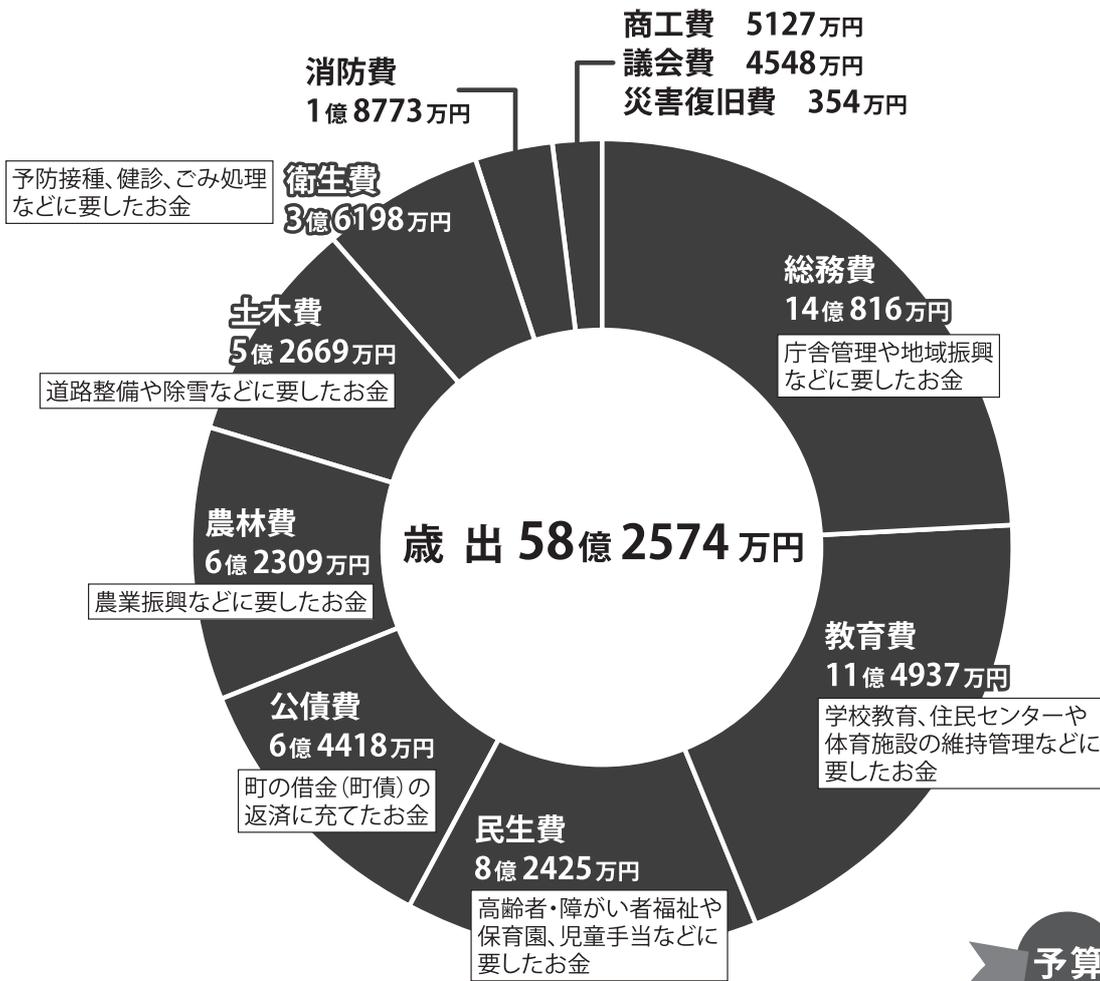
(万円未満四捨五入)

一般会計		補正額	補正前の額	補正後の額
		1236万円	54億2584万円	54億3820万円
内 訳	民生費	368万円	放課後児童支援員等処遇改善事業補助金の追加ほか	
	衛生費	60万円	合併処理浄化槽設置補助金の追加	
	土木費	568万円	車両修繕費の追加ほか	
	教育費	10万円	教育備品購入費の追加(鷹栖小の図書購入)	
	災害復旧費	230万円	8月9日豪雨による北星川復旧工事	
特別会計	介護保険	622万円	7億8857万円	7億9479万円

平成30年度

決算「ふらっと」建設

始まる憩いの場は



決算審査は執行済のものとして扱われがちですが、議会は皆さんの意見を聴き、町の現状を考え、決算の数値を見て、新年度予算への提言を行います。さらに、その提言が活かされたか監視する形で連環していくものです。そのため決算で事業の成果を徹底検証・評価することは重要な意味を持っています。

平成30年度決算の検証はどうなつたでしょうか。



30年度は鷹栖地区住民センターの建て替え工事がありました。グランドオープンに際し愛称が「ふらっと」に決定。式典では鷹栖中学生会による町民憲章朗読もありました。

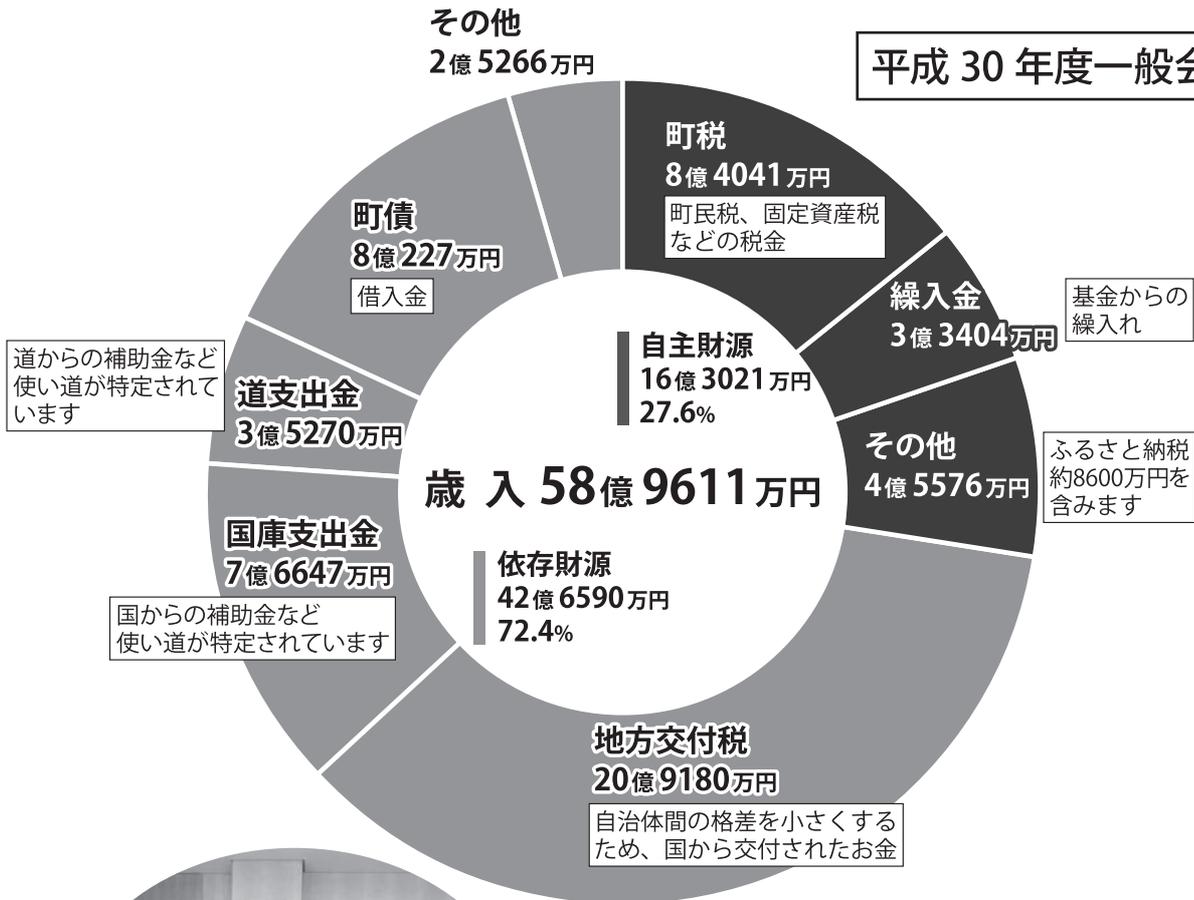
平成30年度各会計収支

(万円未満四捨五入)

	歳入	歳出	
一般会計	58億 9611万円	58億 2574万円	
特別会計	国民健康保険	8億 7309万円	8億 3158万円
	後期高齢者医療	9593万円	9543万円
	介護保険	8億 5404万円	8億 5115万円
	公共下水道	1億 9222万円	1億 8775万円
	公平委員会	126万円	33万円
水道事業会計	収益的	1億 9742万円	1億 6413万円
	資本的	1417万円	9346万円

決算概要

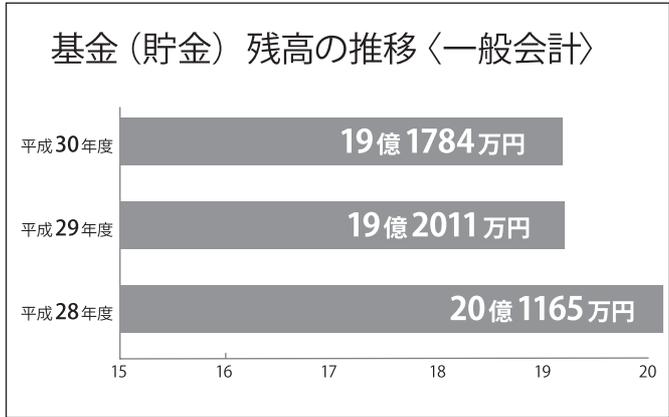
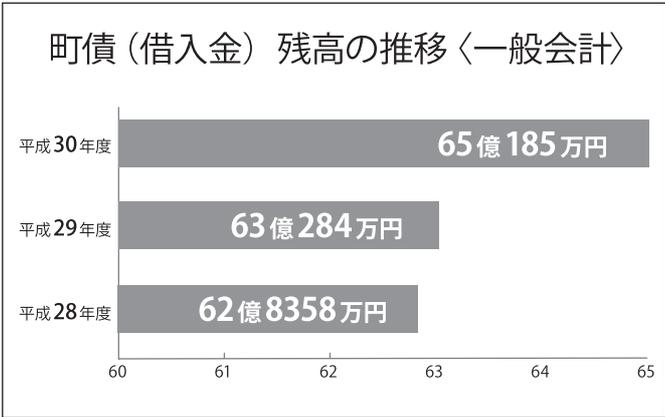
平成30年度一般会計決算



代表監査と議会選出の監査委員で決算を監査します
写真は監査意見書を提出しているところ

監査委員の意見
中期的には安定した財政状況

普通会計（一般会計と公平委員会特別会計）における実質収支比率は2・2%、単年度収支は赤字です。将来負担比率が11・5ポイント上昇していることが懸念されますが、財政力指数の5年連続上昇、実質公債費比率の11年連続減少など、総合的に勘案すると、中期的には、本町の財政状況は安定していると判断できます。



近年、サービス付き高齢者向け住宅、公営住宅、鷹栖地区住民センター建設など投資的経費が増えたため町債が増えています。

減債基金の積立は増えているものの、建設財源の支出が多く、結果、財政調整基金と特定目的基金が減っています。

わたり慎重審議

定例会 2 日目の 9 月 19 日に一般会計ほか 6 会計について審議しました。42 項目にわたる質問がありましたが、その一部をご紹介します。

町民課

デマンド化した町営バス

利用状況は順調？

青野議員

町営バスはデマンド化にあたり聞き取りなどを行っていますが、利用者数や運行回数などは当初想定したニーズに見合ったものになっていますか。

A 29 年度に比べ利用者数は 580 人増、運行回数は 272 回増となっています。デマンド化前と比べると運行距離は半分くらいですが、利用者数は増えています。

片山議員

利用者数は増えていますが、委託費は変わっていません。業者の負担が増えているという問題はありますか。

A そのようなことはないと認識しています。業者とは随時打ち合わせを行い進めています。



町営バス
予約専用ダイヤル

ゴヨyak
0166-87-5489

みどりハイヤー(株)内

1 時間前まで予約申し込みできるようになりました。利用しやすい体制を整えています

健康福祉課



鷹栖保育園の運動会の様子
鷹栖保育園は 30 名、北野保育園は 24 名の職員が在籍しています

保育園の職員

将来的な体制は？

青野議員

保育園の職員は正職員、嘱託職員、臨時職員のそれぞれで責任分野がでてくると思います。管理はどうなっていますか。また、将来的な体制についての考えは。

A 町長

保育園も担任・副担任制度をとっており、正職員と嘱託・臨時職員でまかっています。これを代替保育士がカバーするという形をとっています。今後も基本を守りつつ、子供たちをしっかり目を向けることができる体制で進めていきます。

決算質疑

全42項目に

産業振興課



良い土づくりのため、排水対策として暗きょ作業をしています

あつたかファーム研修生

その後の活動は？

舟根議員 平成30年度開設した農業交流センター

「あつたかファーム」の研修生は、その後どのように活動していますか。

「あつたかファーム」では施設園芸中心の研修を行っています。土地利用型の農業者育成について、今後の方針は。

A 平成30年度は4名の研修生を受け入れました。

第三者継承を前提に、2名はキュウリ、2名は水稲とキュウリの複合での就農を目指し、研修を続けています。

水稲は第三者継承で考えている方と相談していきたくて考えています。

経営移譲、スムーズに

町が取り持つ考えは？

青野議員 交流センター

の研修生について5年くらいの期間での経営移譲はハードルが高いのでは。町として受け手農家の間に入る考えは。

A 一度にすべて経営移譲することは難しいと考えています。機械や施設のリースについて、利用料や期間などのモデルケースを作り、示していく考えです。他の地区の事例も参考にしながら農業相談業務を進めていきたいと考えます。

四季の里の利用

なぜ大幅に減っている？

林川議員 農産加工センター

「四季の里」の使用料収入が5、6年前に比べると大きく減っています。その分は一般会計から運営費を出していることになりません。改善する考えは。

A 平成25年の使用料が1480万円ですので500万円くらい減っています。原料が集まらないためトマトジュースの加工が減ってきています。他の体験加工をPRしていきま



鷹栖町地域
おこし協力隊の
Facebook ペー
ジはこちら



鷹栖町では現在5名の
地域おこし協力隊員が
活動しています



総務企画課

定住に向けて

協力隊との意見交換は？

地域おこし協力隊

活動は決算書のどこに？

青野議員

地域おこし協

力隊を30年度までに4人採用し、今年度も新たに1人採用しました。任期終了後は地域に根付いてほしいとの国の狙いもあったと認識しています。そのような意見交換の体制は。

A

全国的な任期終了後

の地域定着率は約60%で、自分で事業を興したり、民間業者に就職したりというケースが多いようです。毎月ミーティングを行い、将来像についても相談しています。

川原議員

地域おこし協

力隊員が関連している事業が見えづらいため。決算書をもっとわかりやすくできないでしょうか。

A

来年度、活動内容を

わかりやすくしたいと考えます。

建設水道課

水道有収率

向上の手立ては？

青野議員

水道の有収率

低下に対して、どのような手立てを考えていますか。

A

有収率は若干下がっ

ていますが、全国的な人口規模が同じ町村よりは高く、管内でも高い方になります。老朽管の更新は費用がかかるため年に数千口しか更新できません。老朽化が進んでいるところから進めています。

写真左から
久保田隊員 菅野隊員 辰巳隊員 原隊員 宮井隊員

鷹栖町地域おこし協力隊

【有収率とは】

浄水場から供給された配水量のうち、水道料金の対象となった水量の割合のことです。100に近いほど効率の良い水道事業が行われていることになります。鷹栖町の有収率は85.4%です。水を作る経費が高いため、有収率に一層気をつける必要があります。



プラザクロス10には町の観光マップや特産品展示コーナーもあります

産業振興課

プレミアム付商品券

効果の検証は？

沢口議員 プレミアム付商品券の消費喚起の効果についてどのように捉えていますか。

A 商品券はすべて完売しました。参加店へのアンケートでは40%強が「効果あり」、33%程度が「売り上げが増えた」と回答しています。効果はあると考えています。

Q 効果についてしっかり検証する必要があるのでは。また不正使用を防ぐためにも方法を変えるなどの考えは。

A 不正使用を避けるため販売の際には本人確認などとしています。

プラザクロス10

観光拠点としての効果は？

片山議員 プラザクロス10が観光の拠点となっています。利用状況など、効果はどう捉えていますか。

A 平日では1年間に数名の問い合わせがあり、町イベント開催時に訪れる方もいます。

Q 町の観光の拠点であることが道路からでもわかるような方法について考えは。

A のぼりなど工夫したいと考えます。

調べもの 探しもののお手伝いします



どんなことでもまずは司書さんに聞いてみましょう！

教育課

レファレンスサービス

利用されている？

片山議員 司書の専門性が活かされる業務のひとつにレファレンスサービスがあります。この利用状況は。

A レファレンスサービスの件数は押さえています。が、相互貸借については他館から借りたのが115冊、他館に貸したのが2冊という状況です。PRしていきます。



【レファレンスサービスとは】

「探している本が見つからないとき」や「何から調べたらいいかわからないとき」などにお手伝いをしてくれるサービスのことです。



総務企画課

減っている財政調整基金
どこまで大丈夫？

振興補助金
事業の成果は？

林川議員 以前9億円程度あった財政調整基金が、ここ数年で6億円程度まで減っています。災害時のためにもある程度確保しておかなければならないものですが、どれくらいまで下げても大丈夫と考えていますか。また慎重な財政運営についての考えは。

A 国からは5億円程度にするよう指導があります。積みば安心感がありますが、積み過ぎると町民サービスが足りないのではということになります。災害時のためには備荒資金として2億円程度積み立てています。

A 町長 30年度は鷹栖地区住民センターを建て替えました。建物は古くなると負の財産になります。有利な起債を使うよう気をつけています。

青野議員 振興補助金はほぼ予算通りに使われていますが、申請状況は。断ったケースはありましたか。

Q 同じ時期に同じ事業を行うなど継続的なものもありますが、どう捉えていますか。

A 30年度は7件、29年度は5件で年度により違いがあります。相談があったもので地域振興に資するものであれば出していきたいという考えです。

A 3年間の継続が可能であり、補助金終了後、最終的には自立してもらいたいと考えています。必要に応じて金融機関につなぐなど、自立に向け寄り添った支援を行っています。

職員のイベント参加
時間外勤務の扱い？



【財政調整基金とは】
財源を調整する地方公共団体の貯金のことです。財源に余裕がある年度に積み立てておき、財源不足が生じた年度に活用します。

青野議員 イベントに職員が参加しているのも時間外勤務に入っていますか。

Q 毎月いろいろな行事があります。イベントの関係者も含め全体を通して計画し、職員の時間外勤務を減らしていく考えは。

A イベントの所管職員については入っています。時間外勤務のうち事務系が75%、行事関係などが25%となっています。

A 合併できるイベントについてはそのようにしていきたいと考えます。

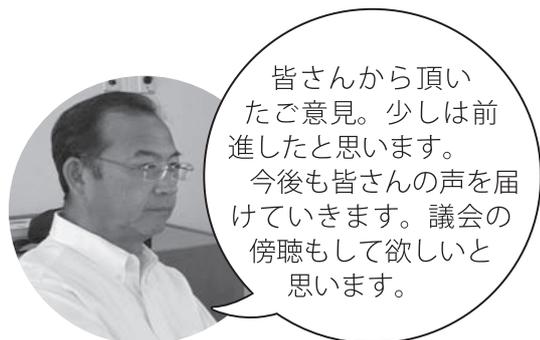


今回は議員OB 3名を含め、のべ16人が傍聴されました

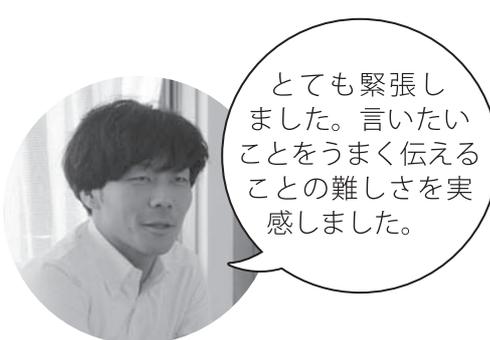
一 般 質 問

質問議員	質問内容	頁
日下 義朗 議員	・避難行動支援の取り組みは ・除排雪体制の強化を	12
青野 敏 議員	・公的住宅の新築・建替計画の全体像は	13
大石 隆 議員	・鷹栖町のふるさと納税の増額を ・河川内の立木、雑木処理を	14
川原 允 議員	・オサラッペ川 独自の水質調査は	15
林川 伸二 議員	・鷹栖町の「おもてなし」とは	16
片山 兵衛 議員	・中長期的な観光振興計画を	17

新人議員2名が初登壇！
はじめての一般質問を終えて・・・



皆さんから頂いた意見。少しは前進したと思います。
今後も皆さんの声を届けていきます。議会の傍聴もして欲しいと思います。



とても緊張しました。言いたいことをうまく伝えることの難しさを実感しました。

6名の議員が町政を問う！
一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。

避難行動支援の取り組みは

町長

支援体制づくりを進める



見守り活動の一環として行われる福祉委員による「ふれあい訪問 DAY」
今年はこども福祉委員がデビューしました！

避 難行動要支援者の名簿作成の進捗状況は。

答弁

現在、名簿には768名が登録されています。そのうち関係機関への

名簿提供について84・3%の648名が同意されていますが、未同意の方が120名います。

昨年の北海道胆振東部地震を契機に未同意の方に再

案内をし、名簿整理に取り組んでいます。

なお、名簿登録要件は、65歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢者世帯、そして、一定以上の障がい認定または介護認定を受けている方になります。

質問

避難行動支援に係わる支援体制や共助力のある地域づくりについての考えは。

答弁

今後とも地域における見守り活動を通じ、要支援者の把握に努め、避難の支援、安否確認などを迅速に行えるように努めます。

また、今年度は地区ごとに地域防災セミナーを開催します。住民・関係機関・行政の連携を図る仕組みづくりを継続します。

除排雪対策の強化を

質問

本年2月の豪雪では、町の除排雪に対して多くの苦情が届けられました。豪雪にも対応できるよう除排雪対策の強化についての考えは。

答弁

昨シーズンを振り返り、除雪委託業者を含め、改善策を検討しています。また、新たな雪堆積場の選定を行い、試行しながら、改善します。

質問

道路状況の情報共有に向け道路・気象観測システムを導入する考えは。

答弁

吹きだまり等もあり、部分的な監視カメラだけでは除雪出動の判断はできません。すべての状況を把握するには多数の設備が必要であることから、現時点では、道路・気象観測システムの導入は考えていません。



日下 義朗 議員

公的住宅の新築・建替計画の全体像は

町長 8総に沿って計画的に整備する



昭和47年～55年に建てられた北鷹栖団地は老朽化が目立ちます

住

住宅に困窮する世帯に対する住宅セーフティネットを担い、町民が将来にわたり安全で安心な住まいを確保することを目的に、昭和44年より公的住宅整備が行われ、北野、北斗、鷹栖地区で7団地286戸が整備されています。

現在、高齢者向け住宅への入居待機者がいます。暮らしの安心面や生活の安全性が高い公的住宅への入居希望者が今後も増加すると

考えます。新築、建替への将来計画は。

答弁 平成23年策定の鷹栖町住生活基本計画および鷹栖町公営住宅等長寿命化計画に基づき整備を行っています。策定後10年が経過し、来年度の更新を予定しています。

次期計画では、公営住宅の総戸数286戸を維持し、内部の施設改善などにより新たな入居対象者に対応するため、第8次総合振興計画に沿って計画的に整備を進めていきます。

質問

北鷹栖団地（北斗地区）は耐用年限が超過し老朽化もかなり目立ち、空き室も増えています。地域にとっては今後必要な借家住宅だと思われ、今後の考えは。

答弁

地域の方々から実情を伺い、これらも必要な団地なのか、必要だとすればどのような整備をしていけばよいのかなどを考えていきます。

質問

そよかせ団地R1・R2仕様のような高齢者向け公営住宅の建設の計画は。

答弁

高齢者住宅の必要性は感じています。

今後2035年ごろをピークに20戸程度の需要が見込まれることを鑑み、望ましい住宅の形態について鷹栖市街地の整備と合わせ、現在検討を進めています。

また、町の財政状況や公設民営などの民間活力も視野に入れながら慎重に検討を進め、早期に結論を出したいと考えています。

質問

つつじ団地1階30戸は高齢者世帯向け専用住宅

ですが、各棟の2階・3階にも元気な高齢者が多数入居しています。入居者が安心して充実した生活が送れるように、気軽に楽しく交流することを目的とした交流サロンのな部屋を公営住宅にも設置しては。

答弁

サロンのような場所を設置することは地域の孤立予防・ひきこもり対策・仲間や近隣住民とのつながりおよび困り事や悩み事の相談に結びついています。

住民の安心・安全の面からも入居者の皆さんによる公営住宅での空き部屋を利用した自宅型サロンの設置運営を支援していきます。



青野 敏 議員

鷹栖町のふるさと納税の増額を

町長 効果的な方法で事業推進する



ふるさと納税でも人気の高い「オオカミの桃」

ふるさと納税は、ふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度で、平成20年度から鷹栖町も開始しています。全国的にふるさと納税への関心は高まり、多くの自治体が寄附金を獲得するために、工夫をしています。ふるさと納税は地方創生の観点から、鷹栖町がまちづくりのための原資を募る

寄附です。寄附金額を増やす取り組みは、平成28、29年度には1億円を超える寄附がありました。しかし、昨年の総務省通知に対応して、寄附額に対する返礼品の割合を3割以下に調整したので、平成30年度は約8600万円と寄附額が減少しました。

本町の返礼品は、鷹栖町産なつぼしなどのお米が3分の2を占めています。今後、町の強みである農産物を中心に推進します。楽天やふるさとチョイスなどのWebページを通じての寄附が約99%です。過度なPRについては総務省から指導されている状況で、現状からのさらなる拡大には限界があります。寄附の多い大都市圏をターゲットとすることが効果的と考えており、事業の推進を行ってまいります。

質問 鷹栖町はかつて大雨のたびに河川が氾濫を繰り返し、農地に大きな被害を与えていました。現在では河川改修が進み、大きな被害を食い止められるようになりまし。しかし、想定を超える降雨による被害は、日本各地で発生し、記録的な大雨は、この地域でも心配されています。大雨で水量が増すと、河川内の立木、雑木で水の流れを著しく阻害し、河川氾濫の原因になります。

河川内の立木、雑木処理を

河川内の立木、雑木処理が必要では。

答弁 土砂上げや樹木伐採により、流れを阻害させないことが最も重要で効果があります。本町が管理している河川では、現地の状況を確認し、優先順位をつけて計画的に実施しています。国や道が管理する河川は、維持管理上支障のあるところから、土砂上げや樹木伐採を随時実施しています。

引き続き国や道へは要望していきます。



大石 隆 議員

オサラッペ川 独自の水質調査は

町長 国の調査結果を町 web ページで公表する



北野小5・6年生の水質調査はオサラッペ川の
上流・中流・下流の各地点で行っています

鷹 鷹 栖町環境基本計画
では「町民は健康
で、文化的な生活を営むた
め、良好で快適な環境の恵
みを享受する権利を有し、
また限りある自然環境を良
好な状態で将来に引継ぐ責
務を担っている」と記載さ
れています。
鷹栖町発展の母なる川、
オサラッペ川について質問
しました。

合併浄化槽の 普及率は

質問 鷹栖町環境基本計
画では、水環境の保全のた
め、合併浄化槽の設置を促
進しています。

現在の普及状況を教えて
ください。

答弁 下水道処理区域外
における合併処理浄化槽の
普及率は、平成25年度の
56・6%から、平成30年度
には68・7%と増加してい
ます。国の補助金を活用し、
浄化槽の整備を実施してお
り、ほぼ計画どおりに進ん
でいます。

オサラッペ川 独自の水質調査は

質問 近年、オサラッペ
川でもサクラマスの遡上が
確認されているようです。
水質が改善されたと考える
ことができますか。

また、鷹栖町独自で水質
調査を行う考えは。

答弁 オサラッペ川にか
かる14線10号の治水橋の下
で、国の機関が水質調査を
行っています。*

昭和57年度のBOD平均
値は、1・2でしたが、平
成30年度は0・9となつて
おり、きれいな河川といえ
る数値にまで改善されてい
ます。

現在のところ鷹栖町では
予算もかかるので、独自に
水質調査をする考えはあり
ません。

質問 現在、国で実施さ
れている水質調査は上流で
あるため、生活排水の影響
がわかる下流にしてはいか
がでしょうか。

答弁 国と相談してみま
す。また水質調査の結果を
町のwebページに掲載
します。

鷹栖町の水質調査結果を
このwebページで紹介しま
す。



※ BOD
(生物化学的酸素要求量)
水中の有機物などの量
を、その酸化分解のため
に微生物が必要とする酸
素の量で表したもので、
水質汚濁を示す代表的な
指標です。BOD平均値
が1・0mg/L以下の川
は、きれいな水質とされ
ています。



川原 允 議員

鷹栖町の「おもてなし」とは

町長

「あつたかす」の意味を大切に進めたい



雑草が目立つ箇所もあります
道路維持のためにも除草は必要です

させたいと考えています。

質問 歩道だけで約58キロあり、新技術ではすぐ対応できないのでは。

高齢化している地域もあるので細かな協議が必要ですが、クリーン作戦のように地域の力を借りることができませんか。

答弁 地域の協力も得られるなら改善策も考えます。また、道にも地域協力の関係が構築できれば提案できると考えています。

質問 公共トイレは一度改修すると長く使えます。和式のところは速やかに改修すべきでは。

答弁 洋式化率の低い体育施設や公園のトイレを順次改修します。

質問 柔らかいトイレトップペーパーをすべてのトイレに配置することは難しいと思いますが、ポイントを絞って配置することはできませんか。

答弁 指定管理者が管理する施設について、話をする機会を持ちます。

質問 公園内トイレのクモの巣除去の徹底を。

答弁 平日は毎日清掃していますが、手が届かない所もあります。気になる所は維持車輛係に言っていたら、すぐ対応します。

質問 多くの町民の方から行政対応の苦言を聞きまます。役場内での接遇向上のため研修が必要では。

答弁 私も満足していません。今年度新たに職員との接遇に対する外部評価を取り入れ、改善事項について検討し、接遇向上を目指します。

質問 マイナンバーカードを使った消費増税対策が来年7月以降に予定されています。詳細は決まっていますが、チャンスでもあります。そこで、キャッシュレスで売買できるモデル地区にチャレンジする考えはありますか。

答弁 制度がまだ不透明な部分もあり、全国に先駆けての実施は難しいと考えています。

鷹 栖を訪れる人、住む人をどうもてなすか。歩道縁石部分の雑草、公共トイレの状態、職員の接遇、買物の利便性が課題と考え質問しました。

質問 高齢化などで車道と歩道の段差部分の雑草が手入れしきれなくなっています。今後の除草対策についての考えは。

答弁 訪れた方に気持ち良く町を見ていただくことはプラスになります。

町道は、年2回、機械刈を実施し、その他の部分は、可能な範囲で除草処理をしています。道道も年2回、路肩を刈っています。縁石部分は未実施です。

町では除草効果のある歩道縁石の実証試験をしており、効果があれば今後普及



林川 伸二 議員

中長期的な観光振興計画を

町長 次期総合振興計画などの中で位置づけたい



今年度はカレーサミットと秋の大収穫祭が同時開催され、メイン会場の鷹栖地区住民センターでは行列ができていました

観 光は現在、順調と言えませんが、人口減少が進む中、より高い目標を達成することは困難になってきます。この先、さらなる観光振興のためには中長期的な計画が必要なのは。イベントをきっかけとし、町内の回遊性が向上するように、計画を策定する考えは。

答弁 観光振興の方向性は総合振興計画や総合戦略の中で施策や評価指数を設

定し、進めています。現在観光に関する中長期的な計画を策定する考えはありません。

質問 イベントの規模や数の拡大は、費用と労力を考えると限界があります。地域に遍在する事業者を有機的につなげて、地域力をかさ上げしていく手間をかけた方法が長期的には最も有効ではないでしょうか。まずは事業者の実態を正しく把握し、同時に事業者間の交流を促進させることも重要と考えます。今後の進め方は。

答弁 平成29年度から地域おこし協力隊を採用し、観光協会の運営に携わってもらっています。

観光協会と連携し、町内事業者の意向を確認しながら、体験型の観光振興に向けた取り組みについても検討し、次期の総合振興計画や総合戦略の中で位置づけたいと考えています。

質問 観光協会の位置づけは。観光振興とまちづく

りとを一体的に進めるため、町が主導していくという考えは。

答弁 観光協会には観光地づくりの企画、立案、実行機関も含め担ってもらいたいと考えています。主体は事業者であるべきで、町としては側面的に支援していく考えです。場合によっては併走型で進める考えも持っています。

質問 事業者が主体的に動けるよう、町がきっかけづくりをする考えは。

答弁 これまでも活動促進は行ってきましたし、国や道の補助金を有効に活用してできる事業についても

アンテナを張りながら進めたいと考えています。

質問 町制50周年記念講演会で海士町の町長が話された「役場が変われば住民が変わる」という積極的な姿勢で、観光振興についても今まで以上に前向きに取り組んでいく考えは。

答弁 これから観光協会や事業者と協議しながら、その場限りではない継続的な観光振興を目指していきたいと考えています。観光については土台ができたところで、これから一番よい仕事ができます。期待してほしいと思います。



片山 兵衛 議員

鷹栖町独自制度で 給食費(主食費・副食費)を負担！！

※町内居住者のみ

第4回臨時会

8/30

町独自の子育て制度可決

幼児教育・保育の無償化のあらまし

令和元年10月から国の制度で保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳児クラスの子供、住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスの子供の利用料が無料になります。

臨時会では無償化に伴い関連する条例を改正しました。また町独自で給食費の助成をするため予算を補正しました。

【補正予算】 食材料費助成金

185万円

認定こども園や認可外保育施設に通う就学前子供の保護者に対し、施設が徴収する食材料費を助成します。

保育園分については条例で食材料費を徴収しないことになっています。

片山議員 町では主食費

の助成として1人当たり1000円の補正予算を計上していますが、実費がこれを超えた場合、国が目安としている3000円までは対応する考えですか。

答弁 各園で聞き取りし

たところ、主食費は500円から800円程度かかっていましたので、補正予算上では1000円を見込んでいます。実費が上がったときには、別途協議します。

利用者の声を聞きました！



鷹栖町では、無償化にあわせて、給食費を負担することにしました。どのよう感じていますか？
また今後、子育て環境の充実に必要だと思うものは何ですか？



内藤恵美さん
(写真はお子さん)

給食費も無償化になつてうれしいです。旭川の方にも鷹栖町は子育てしやすい町だねと言われ、移住してくる人も今後期待できるのではないかと思います。
コオーデイネーション運動が子供の成長にとっても良い効果があると思います。
今は幼稚園で2カ月に1回行われてると聞いたのですが、もう少し頻度を増やしてほしいです。



舟根あきえさん
(写真はお子さん)

月額かかっていた金額が習い事や教育費など他のところで使えるようになるので、とても助かります。子供にかかる金銭的な負担が減ると人口の増加に繋がると思います。

任意の予防接種の助成を増やしてほしいです。



片方かなさん
(写真はお子さん)

とてもありがたいことです。利用者が増えることで子供だけでなく親にとっても良い交流の場になりそうです。
幼児だけではなく高校を卒業するまでにかかる費用に対する何らかの助成制度の拡充を期待します。



齊藤議員と新人議員5名が参加しました



議会広報研修会に参加

視察で来町も

広報広聴常任委員会

全道町村議会
広報研修会

ポールスター札幌

8/20

「読者目線で親切な広報誌を作るには」というタイトルで『月刊総務』編集長



講師の豊田健一氏

の豊田健一氏が講演されました。研修後、取り入れたいことを協議しました。今回の講演から今後取り組んでいく内容は次の通りです。

- 課題性の可視化
議会としてはどう考えるのか、何が問題なのかなど課題性が見えるような紙面作りをする。
- 語り部を変える
住民が関心を持っている課題を読者目線で発掘し、共有する。当事者意識が湧くよう住民に語り部となってもらう。
- 読後感を意識
内容によってはターゲットトを絞り、読後感を意識したページづくりをすることも必要。
- 丁寧な解説を
「移住してきて3日目でも町・議会のことが分かる議会報」づくりを心掛ける。

この他、「キャプションは写真の説明で終わらせず、本文で書けなかった伝えたいことを書く」「専門用語集をおくなどwebを活用する」ことにも取り組んでいきたいと考えています。

視察受入 十勝清水町議会 広報広聴常任委員会 が来町



木下議長と片山委員長が対応しました

10/3 今年から議会報を大幅にリニューアルするなど改革を進めている十勝清水町議会の皆さんが鷹栖町議会の広報広聴の取り組みを視察されました。
議会広報発行までの流れや議員の編集への関わり方などを説明した後、質問を受けました。
清水町議会ではスケジュールや用語集をwebで公開するなど先進的な取り組みしており、有意義な情報交換をすることができました。



「地域を語ろう会」開催に向けての協議も継続中です！



本会議前には議員協議会、各常任委員会、議会運営委員会を開催しています。また議会報編集や追跡レポート編集などのため広報広聴常任委員会を開催しました。
活動の詳細はwebページでも確認いただけます。



改選により鷹栖町議会議員となった12名を議席番号順に3回に分けて紹介しています。

誕 生年月日 住 住所 当 当選回数
学 最終学歴 職 職業 趣 趣味



鷹栖町の農業が未来も
発展し続ける産業を目指す!!

我々農業者としてこの町の農業をこの先もしっかり守り発展させていく為の担い手、新規就農者を含み確保。人口減少、特に子供減少に歯止めをかけた。子供達の未来の為、今出来る事を確実に進めていく事に努力していきます。オール鷹栖の皆様とより良い町づくりの為、頑張っていきたいと思います。



議席番号 **5** ふなね **輝好**

誕 昭和36年12月1日
住 8線11号1番地
電 59-3410
当 2回
学 鷹栖高校卒
職 農業
趣 早寝早起き

大好き!!鷹栖

～ずっと住みたい町を目ざして～

鷹栖の輝く未来をつくる5つの挑戦!

- 教育** 十年後の自分を見据え、夢を自己実現できる子どもの教育環境を整備します。
- 子育て** 女性の目線で働く女性・子育て中の女性をサポートします。
- 農業** 基幹産業である農業の後継に喜びをもって従事できるよう、若い力を応援します。
- 福祉** 高齢化社会に対応し、健康寿命を延ばす取り組みをします。
- 産業** 鷹栖町をより広くアピールできる産業、特産物の開発を試みます。



議席番号 **6** さいとう **哲子**

誕 昭和30年4月25日
住 北野西3条1丁目1-26
電 87-3166 / 090-2694-3880
当 2回
学 京都女子大学卒
職 元小学校長
趣 合唱、畑仕事

私たち鷹栖町議会議員です!

いきいき! 元気な町に

なんといっても鷹栖は農業の町、すぐれた農産品をいかに全国に発信するか、他業種とも連携しながら特産品の開発を目指します。また町外の評価も高い施設や有名店を核に体験型の観光資源を発掘していきます。

にこにこ! 安心な町に

年齢や障害の有無に関わらず誰もが安心、安全に暮らせる町を目指します。2児の子を持つ父親として、同じ子育て世代を代弁する立場からも町の子育て施策や教育に対して積極的に発言していきます。

わくわく! 楽しい町に

鷹栖にも一年を通して、いろいろな行事があります。人と人との輪を広げるためにも、ぜひ皆さんに参加していただきたい、その旗振りを先頭に立って進めます。自分の町は自分でつくる、私と一緒に一歩踏み出してみませんか。

鷹栖のために出来ること
一つ一つを確実に
しつかり! 責任世代の発信力



議席番号 **7** かたやま ひょうえ **片山 兵衛**

誕 昭和 53 年 3 月 17 日
住 16 線 15 号 2 番地
電 87-3870
当 3 回
学 筑波大学
第二学群比較文化学類卒
職 陶芸家 (風神窯)
趣 映画鑑賞 (コメディ好き)

町民が主人公の行政と議会に!!

わたしは 1) 基幹産業である農業が「希望の持ち続けられる農業」として発展し継続すること 2) これまで町を支えてきた世代と新たな住民ともに「魅力を感じ、住み続けたい町」として輝ける町に進化して継続すること 3) 先達たちが作り上げてきた「文化や歴史を大切に、誇りを持てる郷土」を守り育てていくために、これまでの行政経験を生かし、行政と町民の架け橋、調整役として活動します。

そのために、議会報 (孔雀草) や町の広報等で拾いきれない情報を中心に、「姥ちゃん通信」として月 1 回を目標に発行し、皆さんに町政に興味をいただけるよう情報発信していきたいと思っています。

ぜひ、皆さんの集まりにお誘いください!!



議席番号 **8** うば じゅんいち **姥 順一**

誕 昭和 28 年 11 月 26 日
住 15 線 19 号
電 090-1504-0031
当 1 回
学 鹿児島県立笠沙高等学校卒
職 家事手伝い (月のうさぎ)
趣 歌うこと

VOICE

議会報モニターをはじめとする皆さまの声をご紹介いたします。

あなたのアイデアで

議会報を読みやすく 議会報モニター募集中心！

鷹栖町議会では議会広報活動の一環として議会報モニターの皆さんからご意見を伺っています。

現在は5名の皆さんにモニターをお願いしていますが、随時募集をしています。

議会報「孔雀草」に関するアンケートに回答していただくのが主な活動内容です。もっと読んでみたくするためにはどうすればよいかが、これまでも多くのアイデアをいただいています。

以前に比べ、ゆとりのあるページの使い方をされていて、読みやすくなったと思います。町政に興味を持つ人が出てきてくれるといいですね。

ありがとうございます。ゆとりのあるページづかいは意識していますが、まだ窮屈なページがあるのでページ配分など今後見直していきたいと思っています。

行政側の答弁で「考えていきます」「模索していきます」などがありますが、その後の進捗が気になります。

一般質問については「追跡レポート」があります。1年に1回発行していますが、「孔雀草」の中でも質問のその後を意識して編集していきます。

定例会の各項目タイトルなどは囲み線をつけると見やすいのでは。

囲みが多くなると見づらくなることもありますので、紙面全体のバランスをみながら囲み線を使っていきたいと思っています。

反対議員が表記されている意図は、掲載する場合は反対理由などを書くべきでは。「賛成多数」と書くべきだと思います。

「開かれた議会」を目指し、議論の過程や表決状況を掲載するようにしています。表決の前に理由を述べる「討論」があります。反対討論をした場合は内容を掲載していますが、討論していない場合は掲載していません。

「人事の記事で経歴の紹介(173号に掲載)」「語句の説明を増やしてほしい(172号)」「写真を大きく(172号)」「成人式の表紙のときは成人代表の方に『わたしの一言』に登場してもらっては(170号)」などを取り入れています。今後インタビューなどもお願いできればと思っています。興味のある方はぜひご連絡ください。



モニターアンケートは議員がお願いに伺います

追跡レポート 12月発行！

議員が行った一般質問が、町政にどう反映されているのかを追跡した「一般質問その後を追跡！」は12月の発行に向け、編集中です。

今回は2018年の一般質問の中から一部を取り上げます。

12月は「日曜議会」

傍聴お待ちしています

12月定例会は
12月15日(日)～16日(月)



日曜日に一般質問を行います
前回の休日議会は悪天候にも関わらず、14人が傍聴されました

- 12月の定例会は日曜議会です。平日には来られないという方もこの機会にぜひ議場に足をお運びください。多くの方の傍聴をお待ちしています。
- 日程は変更になる場合があります。
- 傍聴の際は、住所と名前をご記入ください。
- 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

今回の表紙

パレットヒルズの植樹祭の後、元力士の大澤さん(上砂川町地域おこし協力隊員)による相撲教室が開催されました。

相撲ならではの準備運動やガチンコ勝負で体を動かかし、スポーツの秋を楽しみました。



白熱した勝負が繰り広げられました



相撲ならではの独特の所作を体験

【50周年記念事業】わんぱく相撲教室(10月6日)

くじやくぞうクイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

- 問1** ○○○○はどなたでも入居できるようになりました。
- 問2** 幼児教育・保育の無償化に伴い、町独自で○○○を助成します。
- 問3** 監査委員の意見では本町の財政状況は○○していると判断できます。



この議会だより「孔雀草」の中に答えがあるので、探してみてください。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。

①よかった記事②よくなかった記事についても書いて下さい(ページ数だけでも結構です)。感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。

全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1000円分をお送りします。なお当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目5番1号 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.lg.jp

《しめきり》

令和元年11月30日(土) 消印有効

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。



鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを自由に書いてもらうコーナーです。今回は北野地区の方に寄稿してもらいました。



寄稿していただける方はぜひご連絡ください！

子育てするため
鷹栖にUターン



まみ
吉崎 真海さん（北野東町内会）



住民センターの図書室にも通っています

「鷹栖町へ戻って感じたこと」

私は鷹栖町で育ちました。就職を機に、一度鷹栖町を離れましたが、子育てをするにあたり、のびのびと自然環境のある場所で子育てをしたいと考えるようになり、鷹栖町に戻ることを決めました。

現在は、子育て支援センターや、住民センターの図書室、パレットヒルズや公園などを利用して頂いています。自分が子供の頃にも利用した記憶がありますが、以前よりも整備され、とても使いやすく、恵まれた環境にあると感じています。

子育て支援センターは、出産するまであまり存在を知りませんでした。子供を思い切り遊ばせたり、悩みを相談できたりと欠かせない存在となっています。

また、天気の良い日はお弁当を持ってパレットヒルズに行き、自然を満喫するのも幸せな瞬間です。

日々新しい出会いがあり、とても充実しています。このような環境で子育てできることに感謝し、これからも過ごしていきたいと思っています。

「山での遭難顛末記」

昭和53年、妻のお腹に長女を授かった7月、南アルプス縦走を計画、友人2人で出かけた。

3日目、次の小屋手前で雷の直撃に遭遇、背中のアルミ背負子に落雷したのだ。もし電撃が頭や心臓に向けていたら即死ものである。靴は割れていた。小屋では手作り担架を急造、小屋まで担がれていく。当日は天候も思わしくないので救助へりは飛ばないとの事。

翌朝、尾根筋に着陸、この時自衛隊が人命救助ということで出動していただいたので事なきを得た。自衛隊の方々には非常に感謝。

浜松の基地まで運ばれ、2週間入院。当日昼のNHKで「山で雷に打たれたものの、人命救助により助かる」報道がなされ、朝日新聞にも同様な記事が掲載された。

今はどこで事故等に遭うかわからない世の中。「ボーっと生きてんじゃねーよ！」を肝に銘じて楽しく暮らすことを心掛けます。

地震、雷、火事、親爺じゃなくて事故・病気

フィットネス倶楽部
「コレカラ」で
待っています！



やすはる
須川 育春さん（北野西町内会）

マッターホルンでのひとコマ
今も山歩きを続けています

